

活動名	団体名	栗原地区地球温暖化対策地域協議会
地域住民・栗原小学校等の連携による環境保全活動(30周年記念誌発行事業)	地域	広島県尾道市
	代表者	代表 高垣 正仁
	支援金額	20万円
活動概要		
<p>現在、私たちの日常生活や経済活動の変化に伴い、石油などの化石燃料の大量消費によって、温室効果ガスを大量に排出し続けています。このため温暖化の進行が進み、異常気象や生態系の変化など、多くの悪影響が生じるおそれがあります。そのため、学校・地域の住民が、各家庭での生活を見直し、現状より温暖化が進行しないように取り組むものです。</p> <p>内容：栗原地区公衆衛生推進協議会が実施していた「水辺教室」を地球温暖化防止活動の一環として引き継ぎ、平成21年度から栗原小学校4年生を対象に、栗原川や門田川で採取した生物から、水質や水の循環・森林が果たす役割などを学ぶ。地域と学校が協働して水質の調査、採取した水生生物を紹介したオリジナルマップ等も作成した。</p> <p>◆実施時期 平成26年6月12日(木) 8:40～12:10 栗原小学校～門田川～門田炭焼きの里</p> <p>◆参加人数 児童 91名 教職員 4名 栗原地区地球温暖化対策地域協議会 15名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員：110名</p>		



たくさんの生き物がいるよ



見たことがない生き物もあるよ



どんな生物が捕れたかな



地域の方々ありがとうございました

◆実施に伴う効果

水辺教室を行うことで、地域の方に、地域を流れる川がどのような状態であるのか知ってもらうことができた。また、児童にも自分たちの住んでいる地域がどのような状態でこれからどうなってほしいかなど、興味・関心を高めて行動することができた。

◆苦労した点

- ・大きく苦労した点はありませんでした。
- ・地域内での取組なので、なかなか多くの人に知ってもらうことができない。
- ・記念誌作成については、様々な人との連携が必要になったので、少ない人数で作成することに苦労した。もう少し担当がいれば連携もより良くなるのではないかと思う。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・地域の人たちの交流の面で、水辺教室のみで終わらず、学んだことをまとめる段階で交流できたらいいと思う。(プレゼンや発表会など)
- ・地域への発信という視点で看板づくりに取り組んだが、学校としてももう少し何ができるか検討する必要がある。

◆活動を終えての感想・意見等

- ・水辺教室では、地域の方々に計画・準備を委ね、児童は楽しく参加するという活動になり、学校としては感謝している。その後のまとめる活動においても、多くの児童が意欲的に活動することができた。
- ・マツダ財団からの支援金もあり、活動をまとめる活動も充実して行うことができた。